

令和3年度第2回中四国学生弓道連盟臨時代表者会議議事録

会議日時：令和3年12月18日（土）20:00～21:30

場所：zoom

出席：愛媛大学、岡山県立大学、岡山商科大学、岡山大学、岡山理科大学、香川大学、川崎医療福祉大学、高知大学、高知県立大学、高知工科大学、四国大学、島根大学、就実大学、徳島大学、ノートルダム清心女子大学、広島経済大学、広島修道大学、広島市立大学、広島大学、広島文教大学、福山大学、松山大学、山口大学、四国学院大学、聖カタリナ大学、倉敷芸術科学大学、岡山大学医学部、近畿大学工学部、広島大学医学部、島根県立大学、徳島文理大学香川校、公立鳥取環境大学

1. 定員数の確認

【中四】委員長：出席 32 校、委任状 13 校より全加盟校 48 校のうち 3 分の 2 以上の出席（委任状含む）があるため、本会議は成立。

2. 議題

2-1. 女子4人立導入に伴う大会運営方法の見直しについて

【中四】委員長：中四国大会の女子4人立導入による大会日程の見直しについて説明。

<4人立の導入に至った経緯>

近年の女子弓道人口の増加によって、男女平等などスポーツ競技としての在り方が見直されている。日弓連、全日学連の会長の強い要望もあり、2018年頃から全日学連内では議論されてきた。前回の全日学連夏季中央委員会で、伊勢大会と選抜大会での導入を決定した。インカレはオープン戦ということで導入はいったん見送る。全日学連主催の大会での前段階として各地区の大会から導入する。伊勢と選抜大会の予選を中四国大会は兼ねており、第68回の中四国大会から女子団体戦4人立がこの前の代表者会議で決定された。

<導入の懸念点>

- ① 4人立にすることで1立に要する時間が僅かに増え、射場が一度にさばける立数が減少し、特に団体予選にかかる時間が増えるだろう。
- ② コロナ対策で運営も動きにくく、例年の中四国大会でも時間が押ししているため、見直しが必要である。

<3案の振り返り>

『従来通り三日で行って規約も何も改正せずに、そのまま4人立で行う案』

<メリット>

・特に何かを変更する必要が無いということでわかりやすい、混乱しづらい。

<デメリット>

・参加校数、射詰めによっては時間的にシビアになり、アクシデントが発生すると時間が更

に無くなる可能性が大きいいため、運営にかなりの円滑さが求められる。

<予選を今の4立から3立に削減して行う案>

<メリット>

- ・全体的に時間に少し余裕ができ、日数は変えずに行うため運営や選手の負担を抑えられる。

<デメリット>

- ・規約改正が必要になり、予選の本数を少なくするため、後半からの巻き返しが少々厳しい。

<現在三日で開催されている中四国大会を四日開催とする案>

<メリット>

- ・スケジュールにかなり余裕ができ、間延びやアクシデントに対応する時間が確保できる。
- ・大会四日目の午後は会場の撤収作業に充てることができる。

<デメリット>

- ・主管校と選手側に負担が大きく、会場利用費が上がったり、人員確保が難しくなったりする。
- ・選手を矢付け含めて五日間も拘束してしまうので、滞在費が増えたり、参加できなくなる選手が出てきたりする。

<第67回中四国大会の様子>

参加校数は男子が26校、女子が24校の参加で例年よりコロナの影響で少なくなった。

<一日目>

団体予選が10時30分頃開始、19時40分に全4立終了。大きなトラブルもなく円滑に運営が進んだ。

<二日目>

個人予選が長引き、10時から予選が開始、13時50分に決勝終了。昼休憩を挟み、14時30分から団体決勝開始。途中に的場畳の劣化で、中っても矢が跳ね返ってしまうトラブルが発生し一時中断。第4試合以降を翌日に変更し、この日はトラブル解決に時間が充てられた。

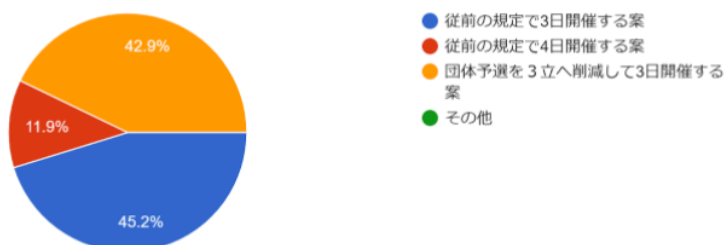
<三日目>

団体決勝の残りを行い、17時20分位にリーグが終了。トラブルが発生したのもあるが、17時20分に終わりというのは結構ギリギリだった。トラブルが無ければもう一試合決勝が二日目に行えていたので、あと一時間くらい早く終わった。

<3つの案の中でどれが一番いいと思うかアンケート>

事前調査の結果

(当日資料を読んで) 良いと思う案を選択してください
42 件の回答



<アンケートで出た意見・質問>

<従来型三日開催案>

[賛成]

- ・『変更点が少ない方が想定外のアクシデントが少ない』
- ・『日数が少ない方がいい』
- ・『立数を減らすのは後半巻き返すチャンスが減ってしまうので4立がいい』
- ・『立数が多い方が選手の技術発展、中四国弓道の発展につながる』
- ・『今年変更するとかえってミス招くのでまずは従来通りの方がいい』。

[反対]

- ・『今年の中四国大会の感じ、時間が厳しい』

<予選3立で三日開催案>

[賛成]

- ・『時間的余裕と運営の負担のバランスが最も良い』
- ・『時間的余裕は欲しいけれども、四日開催にすると旅費などの負担が大きくなるので、三日で3立にするのがいい』
- ・『選手・運営の負担を考えると最もデメリットが少ない』
- ・『今年の感じから、3立にすることで予選の有利不利が生じることはないのではないか』。

[反対]

- ・『中四国大会ということで大学が一堂に会するという貴重な機会に、すべての大学が参加できる予選の立数が減ってしまうのはもったいない』

<四日開催案>

[賛成]

- ・『時間が十分に確保され、運営も焦る必要がなくなることからミスが減る』
- ・『時間を確保しつつ引く本数も減らさずに済む』

[反対]

- ・『滞在費の負担増額は学生にとっては厳しい』

- ・『一日延びることで運営の負担も大きくなるし、かえってミスを引き起こしやすくなるんじゃないか』
 - ・『日程が延びると、大学の参加数が減って、女子の参加人数増加に対する本来の目標が達成されず、本末転倒なのではないか』
 - ・『コロナウイルスの関係で日数を増やすのは良くないのではないか』
- <その他>
- ・『主管校のためにも協力的にすばやく動くように呼び掛けることが大事なんじゃないか』

<質問>

4人立にすることで、射場の扱い方がどうなるのか？

<回答>

中四国大会は前後射場それぞれ12的の射場を4的ずつ、前後合わせて6射場設置する。

[予選]

各大学1立ずつ順々に入って6校同時に行射し、それを4周繰り返す。

本来だったら1つの射場で3人ずつ入れていたため、8校できていたが、捌く校数が減る。

[決勝]

女子は10チームなので、第一射場ではチーム1とチーム2が2立、交互に1立引いて1立引いて、総的で勝負し、全5試合を同時に行う。1立の時間が少し伸びる程度。

<質疑応答>

特になし

<10分休憩>

【中四】委員長：三案に対しての意見を問う。

【岡理】山田：通常通りでやるよりは3立でやる方が良い。今回の運営ではアクシデントもあったこともあるが、休憩もなく忙しそうだった。加えて4人立になると余計に時間が押す。個人の決勝も延びて、団体決勝も三日目にずれて持ち越されていた。四日にすると参加できなかつたり経済的な負担がかかったりと、結局3立にして時間を削減するのが良い。3立に削減の懸念事項について、4立から3立に減らすことで巻き返すチャンスが減ってしまうが、逃げ切れるチャンスも上がる。2立1立だとあまり差がつかないが、3立あれば的中に差がついて妥当な順位になるだろう。

【中四】委員長：今回の中四国大会、運営がバタバタしている印象で、主管校は直前まで活動が制限されていたこともあり、苦勞していた。アクシデントもめっ

たに頻発することは無いと思うが、もし起こってしまったときに取り返しがつかなくなると考えると、少し余裕があったほうが良い。

【ノートルダム】：従来型に投票していたが部員と話したときに、この間の中四国大会のときに結構時間が伸びたという話になって、コロナで出場校が少なくなっても夜遅くになった。従来案投票の理由は試合の数が少なくなるのは残念だから。しかし、その精神論と時間が伸びたときの次の日の体力を比べたときに、体力が無くなる方が良くないと先ほどの話を聞いて思ったので、意見を変えるが、従来型より3立にして三日間の方がよい。

【中四】委員長：招集にかかる時間など、アクシデントは起こらなくても間延びするのは避けられない。大会が延びるとその分精神的にもストレスがかかり、負担になってコンディションに響くのは僕も出場はして感じた。

【広島】樋渡：予選を減らすことは意味がないから従来通りが良い。時間が押している原因は個人戦の射詰めが長くなることで、個人戦を時間通りにできるように工夫した方がいい。例えば、インカレを真似して、あらかじめ競射・射詰めを4段目までやっておくなど。予選を4立から3立に減らすメリットはあまりないので予選4立で三日間案がいい。

【中四】委員長：この間のインカレではコロナが理由で事前に各地区で集まって、団体をやった。個人戦の予選だけを各大学でやっという決勝だけ会場で行うと、仕事が増え、不正を防ぐ意味でビデオを撮って保存したり、zoomで繋いだり、主管校の事を考えたとき、厳しい。

【広島修道】浅田：事前調査の結果を見て、予選3立三日開催案の方がいい。従来型はトラブルが起きた場合、女子を4人立にしている分、時間がかかるので対処しきれない。立数が多い方が選手の成長、中四国学生弓道会の発展につながることもあるが、1立じゃ変わらなくて、その雰囲気の方が大事だ。個人戦を効率化しようと延びるときは延びるので、3立で三日開催案の方が運営や選手の負担も少ないと思った。

【中四】委員長：個人予選もあらかじめ各大学でやればよかったが、メンバーで団体戦に出られない人も会場で引ける機会は個人戦なので、雰囲気を重視すれば、個人戦は減らさずに3立にして、できるだけ会場で引く機会を与えるのは良い。

【岡山】内山：3立に減らして三日間にした場合に、規約改正の仕方はどうなるのか？

【中四】委員長：学連の規約改正は臨時代表者会議、代表者会議を開催して、そこで改正案を提案して、加盟校から承認を得て改正。

【岡理】山田：従来三日開催案の方が半数で3立三日開催案が半数だったが、第二候補の

扱いをどうするのか？

【中四】委員長：従来型案が第一希望で、3立に減るくらいだったら、四日開催がいいとか、ここで出ていない案があったら発言してほしい。

<5分休憩>

【中四】委員長：決議を採る。

<質疑応答>

特になし

学連規約第16条『代表者会議での議決権は加盟校につき1票とする。』

第18条『代表者会議の議事は出席した議決権者の過半数をもって議決する。ただし、可否同数の場合は議長の決するところによる。』

<挙手ボタンにより集計>

投票の結果、従来型が賛成14票、3立に削減する案が賛成18票

過半数の意見が集まった『3立に削減して三日で開催する案』を最終的な案と決定。

次回の第68回の中四国大会から予選は団体戦3立の総的で行う。3立に変更するにあたって規約改正が必要になるが、元々の議題に挙げておらず、本日欠席の参加校が多数あり、新人戦のときの臨時代表者会議で規約変更の決議をとることとする。規約改正(案)は次回の臨時代表者会議で役員から提案する。

<質疑応答>

【岡理】山田：2月に行われる新人戦において、学年的には2年で今年入部した部員は申請がなくても新人としてみなされるのか？

【中四】委員長：大学の学部の学年が2年以上で、今年から部活を始めた方は誓約書に記入して、主管校に提出すれば1回生新人として試合に出場できる。

以上